



平成 30 年 4 月 1 日 発行
公益社団法人牛久市シルバー人材センター

牛久市女化町 859-3

電話 029-871-1468

e-mail usiku@sjc.ne.jp

会員数 468 名 (男 387 名 女 81 名) 1 月末現在



牛久市の木

20 周年記念特集号

感謝の 20 年から更なる飛躍へ



牛久市の花

公益社団法人牛久市シルバー人材センター設立 20 周年記念特集号 記念祝辞

市長 根本 洋治



このたび、公益社団法人牛久市シルバー人材センターが創立 20 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

会員の皆様の熱心な仕事ぶりや役員各位のご努力によって、今日の隆盛を築き上げられましたことに対して深く敬意を表します。

さて、わが国は少子超高齢社会の到来を迎え、全国的な人口減少が社会問題化する一方で、日本老年学会により「高齢者」の定義を 65 歳以上から 75 歳以上に見直すよう提言がなされるなど、若くて活力ある高齢者が増加しております。高齢者の方が生涯現役で明るく楽しい人生を送るためには、社会参加や就業機会の提供などを通し、生きがいの充実を図ることが重要です。

当シルバー人材センターにおいては、設立 20 年目をさらなる飛躍の機会として、これまで積み重ねてこられた実績をもとに、引き続き豊かな地域社会づくりにご尽力いただきたいと思っております。

最後に当シルバー人材センターの益々の発展と、会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。

設立 20 周年を祝して

牛久市議会 議長 板倉 香



このたび、牛久市シルバー人材センターが、設立 20 周年を迎えられましたことを、心からお祝いを申し上げます。

今、時代はまさに長寿国日本でありまして、多くの方々には、「生涯現役」で自立した生活を切望しておられる状況の中、シルバー人材センターにおかれましては、広く活躍の場を提供されておられますことに対し、感謝を申し上げる次第でございます。

また、地域社会や家庭への相互扶助を推進していく必要が高まる中で、牛久市シルバー人材センターへのご活躍に対しまして、大きな期待を寄せるところでございます。

結びに地域の幅広いニーズに応えるため、更に組織体制が充実されますことをご期待いたしますとともに牛久市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げまして、祝辞といたします。

有限会社 パレストラ

代表取締役 宮本 博行



公益社団法人 牛久市シルバー人材センター開設 20 周年誠にありがとうございます。私どもの会社が牛久市で営業させていただいて 40 数年になりますが、牛久市の人口構成も 65 歳以上の方々が 26%を超える高齢化社会になりました。とはいえ、まだまだ肉体的・精神的にも十分ご活躍できる元気な方が地域にもご近所にもたくさん見受けられます。お話を伺うと経験や知識も大変豊富な方が多く、いろいろと教わることがあります。当社においては、環境整備と館内清掃を中心として業務をお願いしておりますが、若い人たちには気づかないところも完璧に仕上げさせていただき、人手不足の中大変助かっております。これからも地域にはなくてはならない人材派遣業として、益々発展され長きに渡る活動になっていくことを心よりご祈念申し上げます。

重環オペレーション株式会社

牛久事業所長 藤田 繁克



公益社団法人牛久市シルバー人材センター様が設立 20 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

当社当事業所は、牛久市様から牛久クリーンセンターの運転管理を委託され平成 11 年施設稼働当初から運営しています。その当時からシルバー人材センター様にお願いし、ずっと継続して頂いております。この施設は焼却設備と資源化設備から構成されています。施設内でシルバー人材センター様に対応している業務は範囲が広く、それぞれの業務を分担し作業を行っています。例えば、資源ごみを資源化・再生化するため、購入されたペットボトルはコンベヤで搬送され機械選別後キャップ・シールを手選別で取り除きます。びん類もコンベヤで搬送中に色別に手選別、それぞれ再生原料として利用されます。陶磁器は、粉碎後再生原料とする為不純物の除去も手作業で行っています。発泡スチロールは機械で溶かし樹脂製品の原料とする為機械設備の運転・搬入搬出の作業を行っています。それぞれ長年の経験より良質な再生原料が確保されています。

このように搬入された資源ごみはこの施設内で資源物として蘇るわけです。ごみを資源化し、街をきれいにする循環型社会形成の下となる業務を担っています。作業はチームワークも良く、設備周りはいつも整理整頓され、気持ちのいい職場作りで作業を行っています。

今後もシルバー人材センター様の重要性が継続されると思います。益々の発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

合同酒精株式会社 フードサービス事業部

牛久シャトーカンパニー

マネージングディレクター 大澤 元



祝辞：設立 20 周年を祝して

この度、公益社団法人牛久市シルバー人材センター様が、設立 20 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

少子・高齢化が急速に進み、生活環境が変化するなか、社会のニーズに応えられ、地域の発展に貢献されてきましたことは、関係各位のご尽力の賜物であり、心から敬意を表します。

私ども牛久シャトー重要文化財施設も東日本大震災により被害を受け、昨年 7 月から一般公開を再開しました。再開にあたり、会員様には神谷傳兵衛記念館をはじめとする施設の美化作業を担当いただいております。細やかな心配りが感じられる作業に感謝申し上げます。次第です。

今後、より一層の少子・高齢化によって、貴法人が重要な役割を担われ、地域社会の発展に寄与されることを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

牛久市シルバー人材センター設立 20周年記念に寄せて



理事長 根岸幹和

社団法人牛久市シルバー人材センターが設立されて以来、実に20年が経過しましたが、そこには当センターの経営体制を左右する大きな出来事がいくつかありました。一つは平成21年度に実施された民主党政権下での行政刷新会議における事業仕分けの実施、二つ目は当シルバー人材センターが公益社団法人に認定され、新公益法人として再発足した平成25年の通常総会です。一つは国庫補助金の削減を通して当センターの経営を極度に圧迫し、徹底した経費削減を余儀なくされました。もう一つは公益法人への移行という制度改制の手続きです。その移行手続きの困難さもさることながら、組織の公明性とガバナンスの確保に革新的な改善を果たすという難事業でした。こうした事業活動の根幹を支え活動してきたのがわが理事会・事務局のメンバーです。今まで取引していた印刷会社からは身を引き、手作りでの広報誌、チラシづくり。またあふれる作業の中、フル稼働で活躍する少数精鋭の職員。償却期限の過ぎた機器を巧みに使い回す会員達。1頁から見直し、40数種類にも及んだ諸規定の見直し・改訂。新システムによるホームページの開発と情報公開。すべては上述の出来事に真正面から取り組み、出来上がった成果です。会員の要望に応え、働く場と生きがいの場を精一杯提供する当シルバー人材センターの実績は県シ連の統計にもしっかりと表示されています。当センターの会員の就業率は80.4%（29年7月末現在）、42社ある茨城県シルバー人材センターの中でもナンバー8の座を占めています。今後も当シルバーセンターは「ニッポン一億総活躍プラン」を地域社会で実践していく為に、高齢者の生きがいの充実と社会参加の促進を実行し地域社会に寄与していく所存です。このためシルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」という理念の下、地方自治体の施策・地域ニーズに対応し、日常生活支援事業など、要支援高齢者に対する事業に力を入れ、取り組んでまいります。また国により要件緩和された労働者派遣・職業紹介での働き方なども有効に活用し、適正就業ガイドラインを遵守し、地域社会の維持発展と急増する高齢者の受け皿としての役割を果たしていきたいものと考えています。

センター設立 20周年を祝う



顧問（前理事長）鈴木 伊平

この度、我が牛久市シルバー人材センター（以下「センター」とする）が、設立20周年を迎えられたこと、誠に悦ばしくお祝い申し上げます。

さて、少子高齢者が進む我が国において、当センターは公益法人として更に30～50年と地域社会に奉仕し続けなければならない使命がある。その使命を達成し続ける為には、次の二つのことについて真剣に取り組まなければならない。それは「会員の増強」・「就業先の確保」である。

このことについては、当センターとしてもいろんなことをやっては来たが、その成果は十分でなく、どうすればこの問題を解決できるかについて、役職員は勿論、全会員が協力し智慧を出し合おうではないか…！

この二点にセンターの存続の命運がかかっているのである。これは全国のセンター共通の課題であるが、我が牛久が全国に先駆け、独自の名案があってもよいのではないだろうか……。

設立 20 周年に寄せて①

会員番号 1157 中井 文喜

平成 10 年、JRひたち野うしく駅開業と機を同じくして、社団法人になった牛久市シルバー人材センターがデビューし、早や 20 年を迎えましたことは喜ばしいかぎりです。当センターの今がありますのは、レールを敷いた先達のご苦勞は勿論、センター運営に携わってきた方々、そして支援下さった牛久市のお陰であります。また、私達会員が、自主・自立・共働・共助と安全就業に心掛けてきたことも 20 周年を迎えることが出来た大きな要因であったと思います。今後とも、会員同志が安全優先と健康長寿を合言葉にして、当センターが永続し発展することを祈念いたします。



会員番号 735 大川 勝男

当シルバー人材センターが 20 周年を迎えましたことを大変喜ばしく思います。平成 10 年に社団法人牛久市シルバー人材センターが設立され、更に平成 25 年には新公益社団法人へと移行されました。そして今日、20 周年を迎えたわけですが、これも偏に諸先輩方の大変なご努力とご尽力があったからだと深く敬意を表する次第です。今、シルバー人材センターを取り巻く社会情勢は大きく変化してきている中、当センターも色々な課題を抱えております。会員、役員、事務局が一体となって、課題に対応し、公益法人として地域社会に信頼されるシルバー人材センターを目指し、自身も努力して参りたいと思います。



会員番号 1231 福田 豊

牛久市シルバー人材センター設立 20 周年おめでとうございます。平成 24 年より安全委員を担当させていただいております。当センターは会員皆さまのご協力により、設立以来大きな事故(重篤事故)等もなく、おかげさまで平成 28 年度には公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の定時総会において、安全就業優良賞を受賞しました。安全委員会ではこれからも、会員皆さまの安全就業の一助になれるよう、シルバーだより等を通し安全について発信していきたいと思います。今後、牛久市シルバー人材センターの益々の発展をお祈りいたします。



会員番号 1345 石垣 一幸

設立 20 周年まことにおめでとうございます。月日の立つのは、早いもので私がシルバーの会員になってから 8 年の歳月が流れ、現在に至っています。其の間には、色々な人との良い縁を得たことにより、毎日毎日の生活において、大変充実した日々を送ってきました。これからは 20 周年の節目に当たり、理事の一員として、過去を反省し、現在を分析して、未来につなぎ、会員皆様一人一人喜んでもらえるようなシルバーセンターになれるように役員一同と協力し、努力していきたいと思います。今後とも会員のみなさまのご協力とご鞭撻をよろしく願いいたします。



会員番号 919 南部 昌弘

牛久市シルバー人材センター発足 20 周年おめでとうございます。発足当初は会員数が 46 名と伺っており、現在は 500 名近くの会員の方が多くの就業機会の提供を受けるに至るまでには、諸先輩及び現会員並びに役員、事務局の方々のたゆまざる努力の結果と思います。また、感謝する次第です。常に、明るく、丁寧な仕事ぶりが評価され地域の方々、企業の方々からの信頼を受けて来られたことを大切に、これからも安心・安全、に努め、皆様の役に立つよう更には、会員の方々の生きがいづくりにつながるよう会員の一人としてシルバー人材センターの発展に微力ながらお役に立てればと思います。



会員番号 1389 新関 勝

公益社団法人牛久市シルバー人材センターが 20 周年を迎えられましたのは、諸先輩方々の努力の賜物と存じます。当センターは、健康を保持しながら楽しく働ける職場と思っています。現在の会員の平均年齢は 70 歳代になり会員数も減少しつつありますが、昨年の満足度調査のアンケートにより「働けるうちはいつまでも」と思っておられる方が大勢いらっしゃる事はまことに喜ばしいことと存じます。小生も微力ながらシルバー人材センターの発展に貢献させて頂く所存です。



設立 20 周年に寄せて②

会員番号 1667 河崎 豊満

シルバー人材センター設立 20 周年おめでとうございます。私は平成 25 年販売関連の仕事
を退職し、入会しました。メインは市の広報誌の配送。初めは道を覚えるため、朝早く地図を手に
各地の自治会館を回ったりしました。相方に恵まれ、楽しみながらの 4 年間。シルバーの理念
「自主・自立・共働・共助」を大切に健康にも留意し、ずっと続けていけたらと思っています。



会員番号 1690 中島 正幸

この度は、設立 20 周年誠におめでとうございます。設立 20 周年の節目を迎え、牛久市シル
バー人材センターの基本理念である自主・自立・共働・共助を再認識し、この 20 年間に築き上げ
た実績と信頼を基に、活力ある地域づくりと生甲斐をもって、この先、更なる前進を遂げるとともに、
会員同士の相互理解を深めながら、フレンドリーで誰にも誇れる牛久市シルバー人材センターとし
て成長し、飛躍することを祈念いたします。また委員会の皆様を始めとし、事務局のスタッフの皆様にも、この
場をお借りしまして心より感謝を申し上げる次第です。今後も、ますますのご発展を心より祈念いたしまして、ご
挨拶とさせていただきます。



会員番号 1259 小林 武男

シルバーだより「うしく」20 周年記念号を発刊にあたり、シルバー会員殿の日々の努力や会員
OB(OG)殿のご指導に感謝申し上げます。小生もシルバー会員になり、当初は以前の仕事との
違いに戸惑い、その時の仲間の言葉を有り難く思いました。人の何気ない、ちょっとした気遣いが
・・・、人をその場にとどめ、10 年間～20 年間と長く、とめおくことになるのだと過去をふり返って感じました。
今後ともよろしく願いいたします。



会員番号 1525 池谷 勝房

20 周年おめでとうございます。シルバー人材センター設立当初、多くの企業は 60 歳定年の
時代でした。現在は「再雇用制度」等により大半の方が 65 歳位迄就業されています。「65 歳まで
働いた、もう仕事はまっ平だ」新規入会減少の一因はそのような背景があると思います。新規事
業も含め、「楽しそうにやっている、入会してみようか」と思える魅力あるセンターを会員皆様と一緒
に発展させていきたいと思ひます。



事務局長 宮本 盛夫

公益社団法人設立 20 周年誠におめでとうございます。早いもので、私も、職員として 20 年
になりました。会員の皆様には、公私ともにご協力並びに、ご指導を頂きありがとうございます。
少子高齢化が進む中で、シルバーセンターの事業として、退職した人たちに就業の場を提供す
ることで、自らに生きがいを与え、健康人生の確立に一定の役割を果たしてきました。就業の多
様化により、派遣事業が行われ、会員の方には、いろいろとご協力いただきありがとうございました。今後もセン
ター発展のため、精一杯頑張ります。



特別会員 池井 一夫

牛久市シルバー人材センターは、先に 10 周年を記念し「10 周年記念誌」を刊行いたしました。
今次 20 周年を迎えるに当たり、その後の変遷を「20 周年記念誌」として発刊できますのも偏に
今日までの理事・職員一同・会員、関係者のご協力の賜物であり感謝しております。さて、当セ
ンターの監事として今日まで、財務、業務面を見てまいりました。皆様方のお蔭で年々順調に業績が進展して
まいりましたことに対してご協力を感謝しております。今後は当シルバー人材センターも適切かつ迅速なサー
ビスが提供され更に状況に応じた極め細かな、対応が求められております。今後とも関係者の皆様の一層の
ご指導、御協力を申し上げます。



会員番号 1215 岩田 勝美

公益社団法人牛久市シルバー人材センターの設立 20 周年、おめでとうございます。私は、
平成 20 年 5 月に当会員となり、10 年目を迎えています。牛久市のシルバーは素晴らしい会員
ばかりです。どんな仕事をしていても、いろんな経歴の中にも今の自分自身として、必ず何か凄
い物を持っています。「俺は、私は、そんな」、という人もいますがそれは違います。学校を卒業し
て何年、何十年それぞれ歩いてきた体験は、自分で自信をもって話されます。自分では何とも思わなくても、
他人から見れば素晴らしい所が必ずあると思います。これからも常に、「今が一生懸命」をすばらしい仲間たち
と、大切にしようと思っています。



設立 20 周年に寄せて③

会員番号 243 正田 晶



牛久市シルバー人材センター設立 20 周年おめでとうございます。勤める人がありまして平成 7 年 10 月入会しました。初めての仕事は町工場で一人の職工としてクレーンを操作して組み立て塗装等完成させました。その他センターでいろいろの仕事に従事しました。改めて今振り返って思うに定年後、家に籠っているのは大違いで、大変有意な、第二の人生を過ごさせてもらいました。また微力でしたが平成 9 年から理事を仰せつかり平成 23 年まで勤めさせて頂き、80 歳を前に理事を辞任しました。今後高齢人口の増加の進む中でシルバーセンターとして PR 活動の強化が望まれます。おわりに、役員、事務局の皆様のご健勝とさらなるご活躍を願ってやみません。

会員番号 285 小松 喜一郎



私は平成 8 年 62 歳の時、ミニシルバーセンターに入会、社団法人→公益社団法人となった当センター変遷を共に歩み続けいつの間にか 23 年目になり最古参の会員として 84 歳になりました。この間仕事は 3 回変わりましたが現在のごみ袋配送の仕事が最長で約 20 年程、続けています。この間、ずっと持ち続け実行してきた生活信条は①いつも明るく、前向きに物事に取り組む。②決して無理をせず、暴飲、暴食せず、仕事以外でも適度の運動と趣味をもち、心と体の良いリズムとバランスを保つこと。③共に仕事をする相手との協調する心を持ち続けること。このようにストレスを溜めない日常生活を続けてきた結果、何とか健康を保ちながら今までこられたと思っています。この間、周囲の人々と善意に恵まれ嫌な思いも少なく、楽しく感謝の日々を過ごさせて戴きました。妻の内助のお蔭も大きかったと感謝しています。これからも当センターの歴史と共に歩み会員の最高齢記録を塗り替えてから引退することが今の願望です。法人 20 周年を迎えた当センターが会員の元気な活躍と共に益々発展することを願ってやみません。

会員番号 725 夏目 興治



公益社団法人牛久市シルバー人材センター設立 20 周年誠にありがとうございます。「仕事なら何でもやります」と入会させていただいてから 15 年経過しました。入会当初は一日も速く仕事に就けることを願っていたと思います。初の仕事場は自宅から近い「福祉センター内」の清掃作業ですぐ慣れました。次の仕事場は少し遠く「牛久市クリーンセンター」内のリサイクル工房室での再生家具作業でした。この仕事は先輩の指導を受けながらの作業でした。仕事に慣れて 3 年後位だと思えます。私達に“再生家具品”をリサイクルショップ室で販売する話がありました。その際に、仲間の何人かが辞退されました。残った 3 人で「家具等の再生品作業」と「家具等の再生品販売」を行いました。色々大変でしたが、お客様と周りの方々のご協力も有り、今日に繋がっていると考え感謝しています。微力ではありますが、同センターの発展をお祈り申し上げます。

会員番号 1049 山下 順征



牛久市シルバー人材センターの法人化 20 周年おめでとうございます。これまでの当センターの健全な歩みは、「自主・自立・共働・共助」の精神のもと、役員、事務局及び会員の三者が、がっちりスクラムを組んで事業発展に取り組んでこられた結果であるかと思えます。会社を定年退職したあと、少しの間を置いて当センターの扉をたたいて足かけ 12 年。この間、同じ職場で楽しく働いてこられたのも、当センターの居心地のよい雰囲気のおかげかと感謝しております。ところで、個人宅に家庭ごみの収集に何う仕事を担当していますが、近年その訪問件数が急増しており、高齢化社会が急速に進んでいることを痛感させられます。また、シルバー会員数も減少しており、仲間たちも減少しております。こうした超高齢化社会を迎えるなか、当センターは 30 周年に向けて第一歩を踏み出しました。高齢化社会が抱える諸課題を克服され、ますます発展していかれることを祈念してペンを置きます。

写真で見る平成 20 年からの歩み



講習会(毎年実施の安全運転講習会)H.20.1



ボランティア活動(毎月の街路清掃)H.22.6



ボランティア活動(公共施設の整備・清掃)H.24.9



総会(第1回公益社団法人定時総会)H.25.6



会員募集チラシ配り(牛久駅前にて)H.26.10



会員研修会(茨城県庁視察)H.27.11



表彰(安全就業優良賞受賞)H.28.6

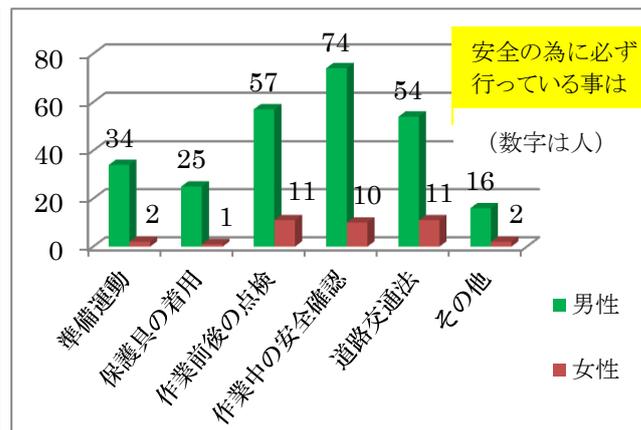
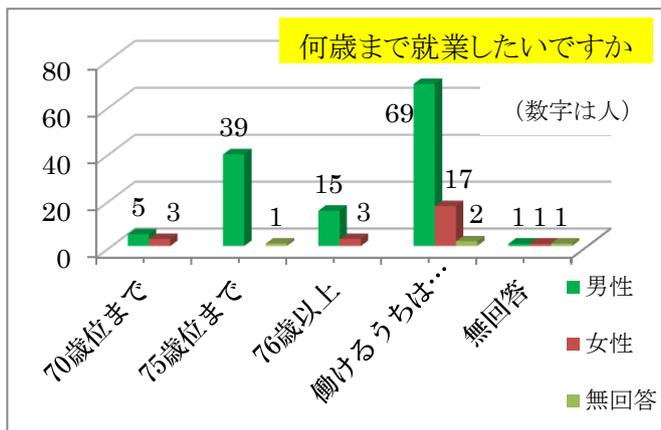
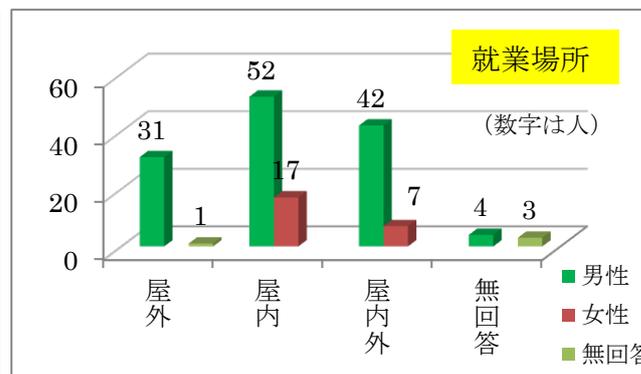
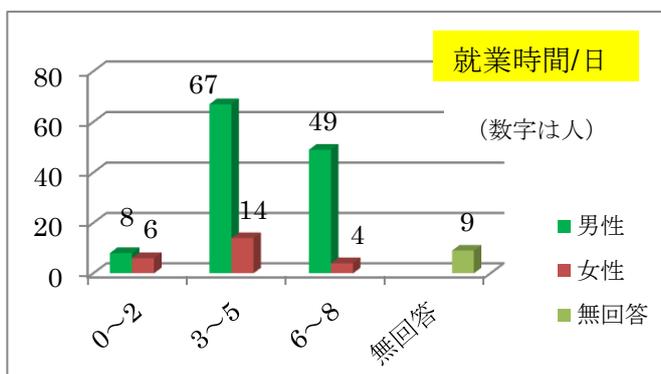
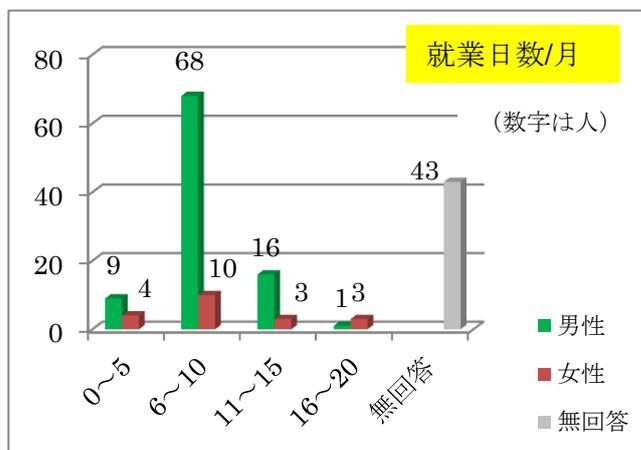
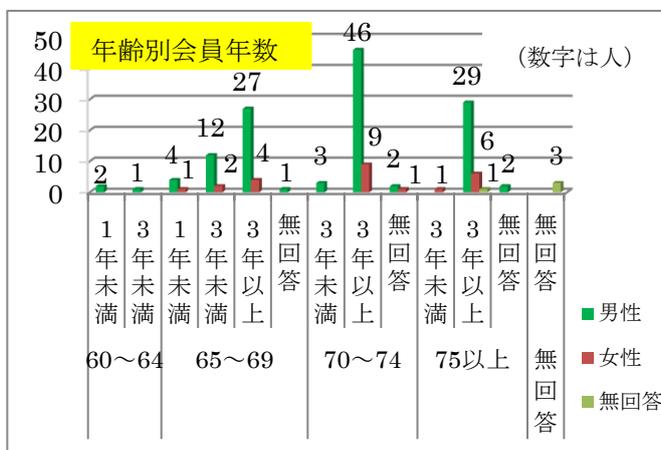
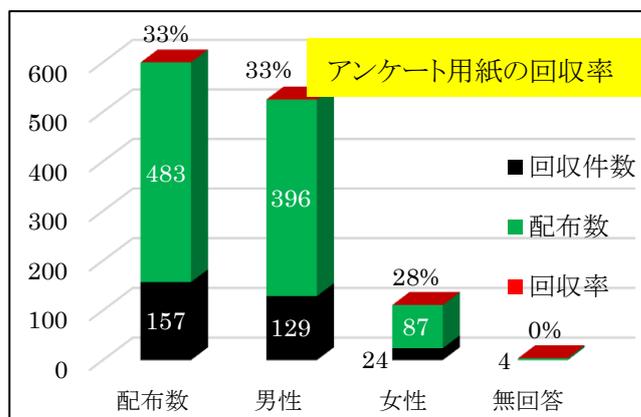


会員同好会(カップ箸製作風景)H.29.7

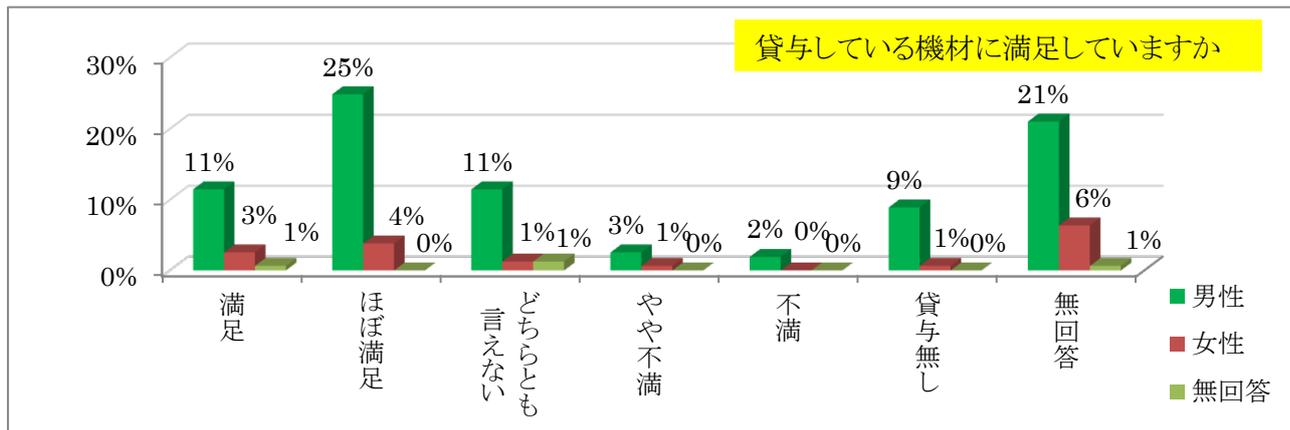
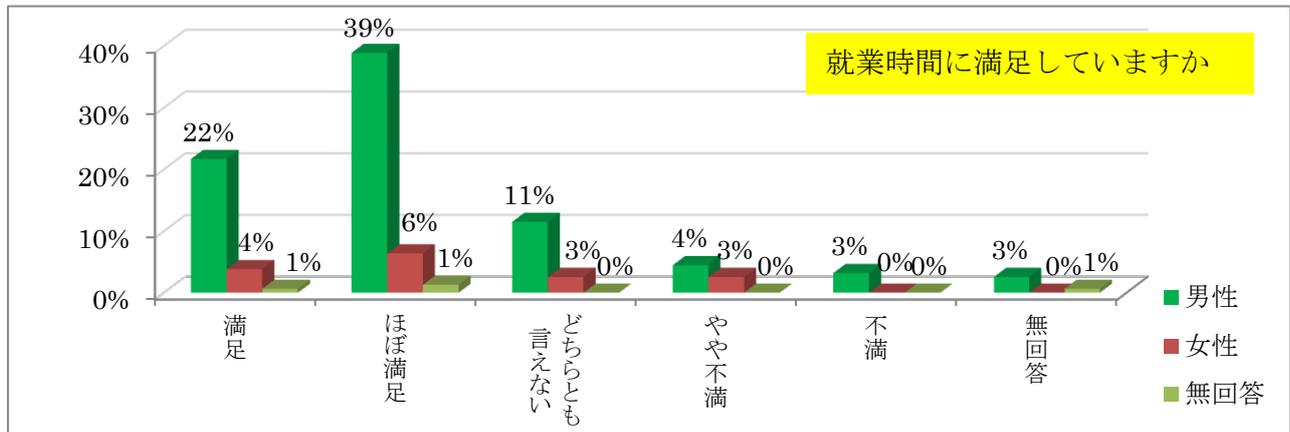
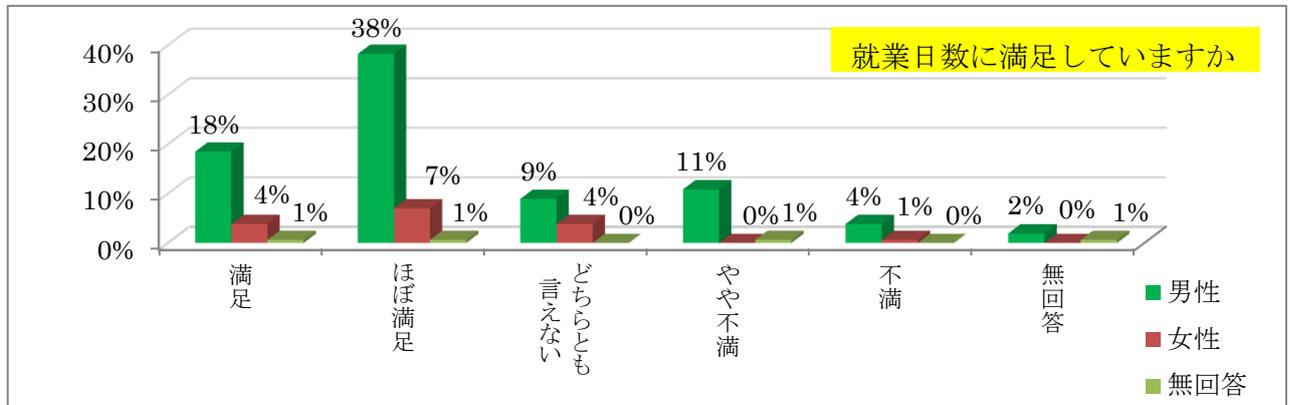
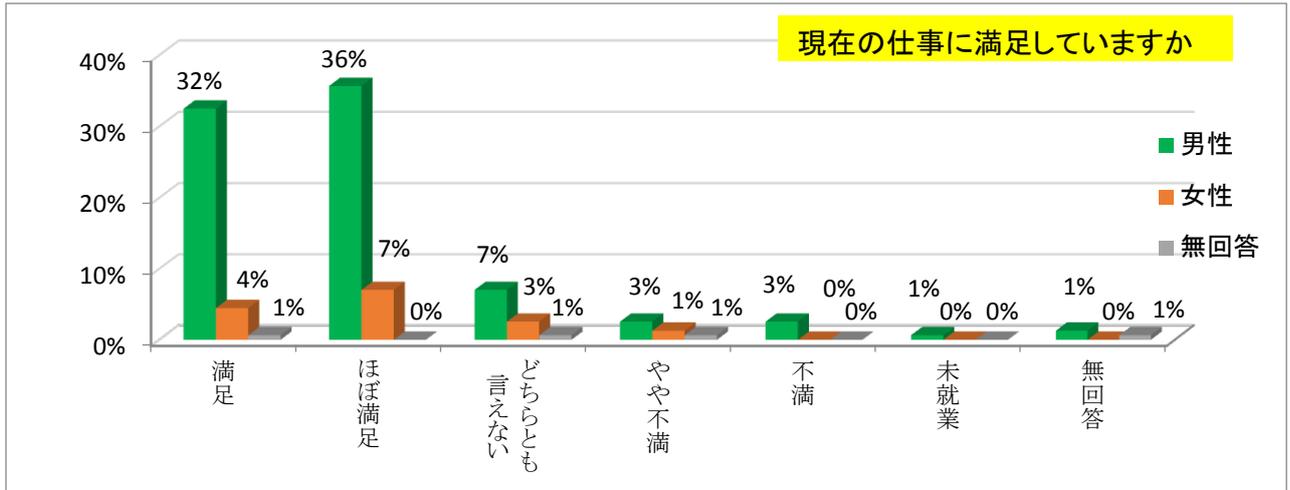
満足度調査: 分析①

*会員数：483人 2017.4.1現在 *調査期間：2017年4月1日～2017年6月30日

20周年特集号発行にあたり、会員の皆様、アンケートにご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。一口で申し上げますと、新入会員は60歳代後半、在籍年齢は3年以上で70歳～74歳が最も多く、また、女性会員が減少しております。嬉しい点は仕事に「満足・ほぼ満足」「働けるうちはいつまでも」のお答が一番多かった点です。今後は「健康長寿」をモットーに掲げて募集し、さらに入会して良かったと言われるセンターにして行きたいと思う所存です。これには皆様のご協力が不可欠です。どうか今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。



満足度調査: 分析②



10周年～20周年までの歩み

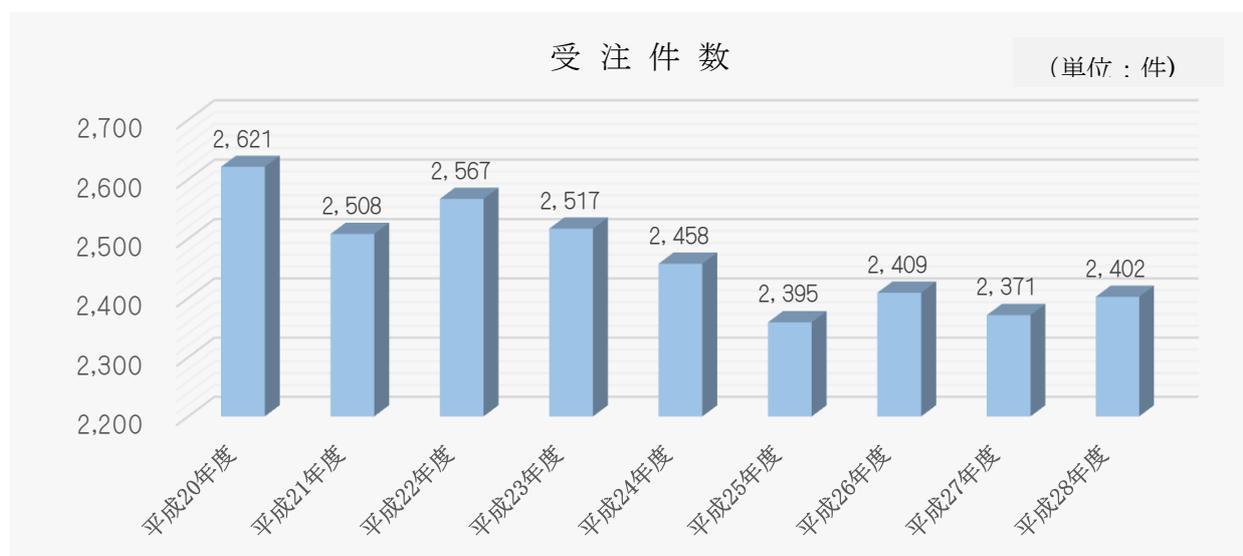
年月	センターの動き	できごと		
平成10年2月	社団法人牛久市シルバー人材センター設立総会開催		3月	通常総会開催
	常磐線ひたち野うしく駅駐輪場管理業務受託	ひたち野うしく駅開業		年度末会員数 524名
	年度末会員数 219名			会費・事務費改定(会費2000-事務費率8%)
4月	シルバーセンター諸規定 理事会で承認			「古物商許可」取得
	社団法人牛久シルバー人材センター設立		4月	シルバー人材センター・自主ホームページ開設
	各種業務見積単価 理事会で承認			独自事業・パソコン教室開設
11月	市資源ごみ選別作業業務受託		5月	通常総会開催
	安全パトロール実施 (以降毎年2回実施)		9月	労働者派遣事業・派遣元責任者資格取得
平成11年2月	会員に対する就業アンケート調査実施		10月	社団法人牛久シルバー人材センター設立10周年記念
	牛久防災ワールド販売業務参加(以降毎年参加)		平成21年1月	安全運転講習会・実車運転演習
3月	通常総会開催		3月	シルバー人材センター10周年記念誌発行
	年度末会員数 255名		3月	通常総会開催 役員改選 (別掲参照)
5月	通常総会開催	牛久阿見斎場開業		年度末会員数 547名
平成12年3月	緊急雇用支援事業として就業開拓員2名採用	牛久クリーンセンター竣工	5月	通常総会開催
	安全就業ハンドブック 全会員に配布	大野市長3選	4～5月	ブロック会議開催 5地区ごとに開催
	障子・ふすま貼り講習会開催	介護保険制度導入	6月	ブルーベリー栽培の会発足 30本植樹
	通常総会開催	下根保育所開所	10月	会員募集中ラン配布 牛久駅東・西駅前
	年度末会員数 294名		11月	
5月	通常総会開催		平成22年4月	第1回事業仕分実施 補助金前年度比230万円削減
平成13年3月	会員研修実施 日立市シルバー人材センターと交流			公益法人制度移行作業開始
	通常総会開催 役員改選 (別掲参照)		5月	通常総会開催
	受託事業収入1億円突破			年度末会員数 558名
	年度末会員数 346名		7月	派遣事業推進説明会・DM発送・参入準備
5月	通常総会開催		8月	うしくみらいエコフェスタ参加
	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部改正		10月	日帰り研修旅行会実施
	を受けて定款の一部変更		11月	蕎麦打ちの会「銀ソバ」発足
9月	清掃ボランティア開始(市役所～うしく駅間)		平成23年3月	福島原発事故発生1～4号機全壊
	以降毎月第3水曜日実施		4月	福島原発事故被災地域住民非難受入れ・交流会実施
	役員研修実施 取手シルバー人材センターと交流		5月	24回通常総会開催
平成14年3月	通常総会開催			年度末会員数 578名
	年度末会員数 383名		8月	公益社団法人牛久シルバー人材センター移行申請書提出
5月	通常総会			当センター諸規程全面見直し開始
11月	包丁研ぎ講習会実施			定款改定着手
	福祉フェスティバルに参加		11月	委員長会議規程制定
平成15年1月	龍ヶ崎シルバーと合同交通安全講習会実施(以降毎年開催)		平成24年4月	公益社団法人牛久シルバー人材センター移行登録手続き
3月	通常総会開催 役員改選 (別掲参照)		5月	通常総会開催
	年度末会員数 423名			年度末会員数 563名
4月	シルバーだより 全戸版発行・初版		6月	会員の手引き再編集
5月	通常総会開催	圏央道つくば牛久IC開通	7月・9月	社会奉仕活動・保育園の剪定・除草実施
平成16年3月	通常総会開催	池辺勝幸市長誕生	10月	新公益法人対応・新ホームページ立ち上げ
	年度末会員数 477名		平成25年3月	公益社団法人牛久シルバー人材センター移行認定
5月	通常総会開催		6月	通常総会開催(公益法人移行・設立総会)
平成17年3月	通常総会開催 役員改選 (別掲参照)			年度末会員数 553名
	年度末会員数 479名		8月	「家庭でのお手伝い事業」立上げ・専用チラシ作成
5月	通常総会開催		10月	理事会運営規則制定
	総務部会・事業部会を新設 4部会体制となる	牛久警察署開署	平成26年6月	定時総会開催
6月	茨城県シルバー人材センター安全就業大会参加			年度末会員数 520名
平成18年3月	通常総会開催			安全パトロールマニュアルの作成
	年度末会員数 540名		12月	会費・事務費改定(会費3000-事務費率10%)
	「会員の手引き」作成配布		平成27年2月	総会運営規程の制定
	カタログ販売取扱開始		6月	定時総会
	4専門委員設定・会組織化			年度末会員数 498名
5月	通常総会開催			クレーム対応マニュアル作成
11月	地域ブロック設立説明会5ブロックにて開催			県シ運「安全就業大会」出席
平成19年1月	ブロック会議発足、5ブロックごとに開催		8月	委員長会議規程制定
3月	通常総会 役員改選(別掲参照)		10月	
	年度末会員数 502名			根本洋治氏牛久市長に就任
4月	クリーンセンターの家具リサイクル部門より移管		11月	茨城県庁視察・研修会
	安全部会作成「事故対策安全カード」会員に配布		平成28年6月	定時総会開催
	送迎車運転手の交通安全講習会実施			年度末会員 520名
5月	通常総会開催	新潟中越沖地震		パソコン教室就業マニュアル作成
11月	地域ブロック活動開始	池辺市長再選		カッパ著作。試作品発表
	第2回会員に対するアンケート調査実施			全国シルバー人材センター事業協会より安全就業優良賞受賞
平成20年2月	自転車交通安全講習会実施(受講証発行)		平成29年6月	定時総会開催
	県シ運主催 緊急安全就業推進総決起集会に参加			年度末会員数 481名
				20周年記念特集号制作立ち上げ

10周年～20周年までの事業成績の推移

1. 契約金額



2. 受注件数



3. 会員数



賛助会員様紹介

ご支援ありがとうございます。



これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



Sports Club USHIKU **スポーツクラブ牛久**
牛久市南2-34-13
電話 872-6460



社会医療法人 つくばセントラル病院
牛久市柏田町1589-3
電話 872-1771



(有)長浦自動車工業
牛久市さくら台1-77-4
電話 872-2921



編集委員長：石垣 一幸 ・ 編集副委員長：新関 勝

編集委員：河崎 豊満 ・ 小林 武男 ・ 池谷 勝房

編集後記

会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

お陰様で、牛久市シルバー人材センターは平成10年2月に発足してから20年の節目を迎える事が出来ました。ここに20周年記念誌を発行するにあたって、会員及び賛助会員様と関係各位のご理解とご協力に心から厚く御礼申し上げます。

20周年という「節目」を迎えるにあたって大切なことは諸先輩の残してくださった歴史を受け継ぎ、その具体的変遷を試みることによって、現在を考えさらに将来への発展を計画し繋げていくところにあると思います。そのような願いと思いをこめて編集をさせていただきました。そしてこの構想に沿って編集にとりかかり紆余曲折を経ながらお届けした本誌に仕上がったものです。情熱を以って取りまとめにあたってくれた各理事はじめ編集担当委員、特に紙面の構成レイアウトを考えてくれたスタッフ、原稿依頼を快く引き受けて執筆して下さいました皆様に敬意と感謝を表し、最後に「人は人の為に生きてこそ人という」言葉で筆を止めさせて頂きたいと思っております。



広報委員長 石垣 一幸